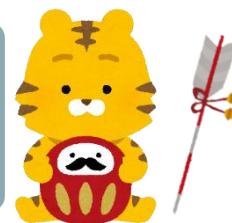




広島市食検だより

2022年1月 第69号

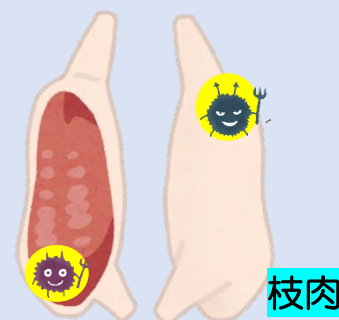
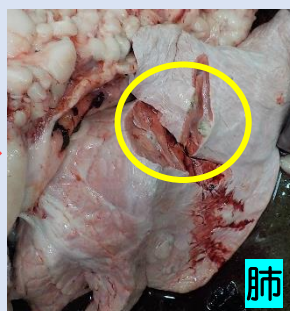


うみ 膿からこんな菌が出ました！ 膿毒症について

ケガをしたときに膿ができてしまうことがありますよね？この膿の中の菌が全身に回り、体のあちこちに膿のかたまりができてしまった状態を『膿毒症』といいます。今回は膿毒症の疑いがある牛の精密検査の様子を見てみましょう。



解体すると…



肺、肝臓、脾臓、枝肉の中に『膿のかたまり』がありました。

膿の中にどんな菌がいるのか調べます。

精密検査

↓ 膿の中にはこんな菌がいました ↓



今回は、

Trueperella pyogenes

という菌が検出されました。

この菌は、よく牛や豚の膿毒症の原因菌として検出される菌です。グラム染色をすると青紫色に染まり、細長い形をしているのが特徴です。

膿毒症と判定された牛や豚の内臓やお肉は流通しませんのでご安心ください！！